

市民とともに創る協働のまちづくりシンポジウムアンケート結果

【参加者数内訳】

内訳	人数
市外（他市職員含）	30人
市内	56人
市議会議員	4人
市職員	18人
市民自治推進会議委員	5人
市民自治検討委員会委員	4人
合計	117人

【アンケート結果＜参加者数117名中アンケート回答者74名＞】

問1 このシンポジウムの開催を何でお知りになりましたか。

選択肢	人数	割合
1. 市広報紙	30人	34.88%
2. 市ホームページ	14人	16.28%
3. 自治会回覧	23人	26.74%
4. マスコミ報道	2人	2.33%
5. その他	17人	19.77%

その他意見(チラシなど)

※人数についてはは重複回答あり。

問2 今年6月に「生駒市自治基本条例」が制定されましたが、このシンポジウムに参加される前に「生駒市自治基本条例」についてご存知でしたか。

選択肢	人数	割合
1. 知っていた	34人	46.58%
2. 内容は知らないが聞いたことはあった	24人	32.88%
3. 知らなかった	15人	20.55%
4. その他	0人	

＜参考：平成21年2月27日～3月19日実施市民アンケート結果＞

選択肢	人数	割合
1. 知っている	93人	24.15%
2. 知らない	291人	75.58%
3. 無回答	1人	

問3 自治基本条例の必要性について、理解できましたか。

選択肢	人数	割合
1. 理解できた	39人	54.17%
2. 少し理解できた	28人	38.89%
3. あまり理解できなかった	5人	6.94%
4. 理解できなかった	0人	

問4 自治基本条例の制定によって、どのような効果を期待されますか。該当するものすべてに○を付けてください。

選択肢	人数	割合
1. 市民と行政との協働のまちづくりが推進される。	46人	25.56%
2. 市民の役割や責務が明確となり、市民の主体的なまちづくり活動が活発となる。	45人	25.50%
3. 議会の役割や責務が明確となり、分かりやすい議会運営が行なわれる。	32人	17.78%
4. 行政の役割や責務が明確となり、分かりやすく効率的な市政運営が行なわれる。	34人	18.89%
5. 市職員の意識が改革され、市民からの信頼や行政能力が高まる。	23人	12.78%
6. その他	6人	4.29%

<参考：平成21年2月27日～3月19日実施市民アンケート結果>

選択肢	人数	割合
1. 市民と行政との協働のまちづくりが推進される。	79人	16.70%
2. 市民の役割や責務が明確となり、市民の主体的なまちづくり活動が活発となる。	61人	12.90%
3. 議会の役割や責務が明確となり、分かりやすい議会運営が行なわれる。	68人	14.38%
4. 行政の役割や責務が明確となり、分かりやすく効率的な市政運営が行なわれる。	149人	31.50%
5. 市職員の意識が改革され、市民からの信頼や行政能力が高まる。	106人	22.41%
6. その他	10人	2.11%

- 両方とも「市民」を対象としたアンケートであるが、市民アンケート回答者のほうが、「4. 行政の役割や責務が明確となり、分かりやすく効率的な市政運営が行なわれる。」や「5. 市職員の意識が改革され、市民からの信頼や行政能力が高まる。」の割合が多く、「1. 市民と行政との協働のまちづくりが推進される。」や「2. 市民の役割や責務が明確となり、市民の主体的なまちづくり活動が活発となる。」の割合が少ないことから、行政（市・市職員）に対する期待が大きく、シンポジウム参加者は、自分も行動をするという意識が高いと考えられる。

問5 市民と行政との協働によるまちづくりをどのように取り組むべきだとお考えですか。該当するものに○を付けてください。

選択肢	人数	割合
1. あらゆる分野において積極的に進めるべき	54人	72.97%
2. 行政がまちづくりに責任を持つべきであり、協働はある程度のところにとどめるべき	14人	18.92%
3. あまり必要は感じない(今のままでよい)	0人	
4. 分からない	1人	1.35%
5. その他	5人	6.76%

<参考：平成20年10月1日～17日実施職員アンケート結果>

選択肢	人数	割合
1. あらゆる分野において積極的に進めるべき	57人	15.66%
2. 行政がまちづくりに責任を持つべきであり、協働はある程度のところにとどめるべき	286人	78.57%
3. あまり必要は感じない(今のままでよい)	13人	3.57%
4. 分からない	6人	1.65%
5. その他	2人	0.55%

●「市民」と「職員」を対象としたアンケートであるが、反対の結果が出ている。市民は「1. あらゆる分野において積極的に進めるべき」の回答が一番多い(72.97%)が、職員は少ない(15.66%)。逆に「2. 行政がまちづくりに責任を持つべきであり、協働はある程度のところにとどめるべき」は市民は18.92%と少ないのに対し、職員は78.57%と高く、また「3. あまり必要は感じない(今のままでよい)」は市民が0%に対し、職員は3.57%となっており、市民と職員の意識の差はあると思われる。

問6 本日のシンポジウムで印象に残ったこと、その他ご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 自分自身どのように参画・協働にかかわるか。どの分野で参画し実際に動くかを考えます。未来にどのようにイメージしてつないでいくか、周囲に同レベルの参画・協働についてアピールして情報提供していくかです。
- ・ 生駒市の協働のまちづくりが行政・議会・地域が一体となって推進されることが重要であることを感じました。
- ・ 市民・行政・議会がそれぞれでしか出来ないことを考えて実践していく。
- ・ 皆さん長時間にわたり熱心に聞いていたので、今後に期待がもてるのでは。
- ・ 参画・協働と検証・査定は車の両輪である。市民の参画・協働のまちづくりでよい施策が企画立案できたとしても予算等で立ち消えにならないこと。情報の公開は絶対条件であるので、計画・実行が立ち消えになっても結果は情報公開すること。
- ・ 参画と協働のまちづくりは非常に大切ですが、それを推進するには時間がかかるし、勉強もしていけないといけないので、市民一人ひとりが自覚していくことが大事。
- ・ 参画と協働が必要ということは理解ができた。しかし本日出席しなければわからないことだったので、啓発等をしていくべき。
- ・ 今回は1回目ですが、今後さらに具体的なテーマにしぼって開催してはどうか。
- ・ 情報の共有は行政と住民が積極的に行なう必要がある。
- ・ 中川先生の講演がとても良かった。これからのまちづくりの方向を示して下さっただけでなく、市民・行政・議会のすべてが変革のために努力すべきだという考え方を力強く語って下さって嬉しい。
- ・ シンポジウムに来るまではどんな話かわかりませんでした。市民・行政・議会が協力し合いまちをよくしようというこのシンポジウムはよかったと思います。
- ・ 今までこのようなことは行政・自治会役員がするものと思っていたが、反省している。一人の市民として参加すべきだと思った。
- ・ 自治協議会の組織づくりを具体的にどうするのですか。自治会との関係は？自治会自体運営がしんどいところも多くなっているのでは、テコ入れが必要なのではないか。
- ・ 自治会を基本にすると異口同音に言っていたが、自治会と民主主義の関係を議論すべき。選挙で自治会役員推薦など民主主義を破壊する問題もある。
- ・ どこを切口に参画と協働を進めるか。自治会活動と連携し、近隣の助け合いにつなげるか。
- ・ 市政に関心のない市民の心をいかにして捉えるかが重要。
- ・ 「ここから出て行かない」という意識の醸成
- ・ 市民・行政・自治会・NPO 団体も経営者である。市民の意識改革が必要
- ・ 市民も経営者の立場に立っての参画することの必要性
- ・ 市民の声はすべて「OK」「善」ではない。単なる要求・クレームだけではだめ。市民は学習し、科学的検証をして、「経営者」としての視点が必要。
- ・ 生駒市の本気度を感じた。